

令和5年度 当別町教育委員会表彰

当別町の教育行政に貢献された方、芸術文化・スポーツ分野で功績をあげられた方に対して令和5年度当別町教育委員会表彰が贈られましたので、受賞された方をご紹介します。



芸術文化活動の分野において、コンクール等で優秀な成績を収め、芸術文化の振興に貢献をされた個人または団体、長年にわたり芸術文化活動の発展に尽力し、芸術文化活動水準の向上に貢献された個人または団体を表彰。

税に関する絵はがき
コンクール



第55回全国学生書道展



第54回全国書道コンクール



第91回全国書画展覧会



藤原さくらさん
(とうべつ学園5年)

阿部杏奈さん
(とうべつ学園6年)

長年の功績による表彰

太美書道教室

【功績】

平成10年に設立され、月3回の教室と毎月雑誌「書の研究」への競書作品提出、毎年「国際現代書道展」への出品、当別町文化祭への出展など長きに渡り、多くの住民に書道の魅力を伝え、地域文化振興に多大な貢献をされました。

書道を通じて、集中力や豊かな感性を養い、親子間のコミュニケーションの促進などを目指して精力的に活動されてきた結果が認められ、令和5年度石狩管内文化団体協議会文化奨励賞を受賞されました。



川口あやのさん
(とうべつ学園6年)



上段左からとうべつ学園三浦康誠さん、菊田結花さん、大貫陽詩さん、太美書道教室渡辺宏美さん
下段左3人目から川口あやのさん、須藤杏菜さん、藤原さくらさん、阿部杏奈さん



スポーツ活動の分野において、競技大会等で優秀な成績を収め、スポーツ振興に貢献をされた個人または団体、長年にわたりスポーツ活動の発展に尽力し、スポーツ活動水準の向上に貢献された個人または団体を表彰。

第38回北海道女子剣道
段別選手権大会
女子二段の部



林穂乃香さん



第76回北海道高等学校
陸上競技選手権大会
男子5000mW (競歩)



第39回北海道高等学校
新人陸上競技大会
男子5000mW (競歩)
沖田昊聖さん



第41回全日本バウンド
テニス選手権大会
フリーの部
女子ダブルス



第41回全日本バウンド
テニス選手権大会
フリーの部
女子シングルス
村井由里絵さん



受賞者を代表して謝辞を述べる村井由里絵さん



左3人目から沖田昊聖さん、林穂乃香さん、村井由里絵さん

3月7日は消防記念日 当別消防署の一日

消防記念日は、昭和23年3月7日に消防組織法が施行されたことを記念し、消防に関する理解と認識を深めるためとして定められました。

火災や救急で出動する姿を見ることはあっても、消防署の職員が普段どのような業務に従事しているか皆さんご存知でしょうか？

今月号では、当別消防署の一日の流れと職員の声を紹介します。

■問合せ 当別消防署総務課総務係 (☎ 23 - 2537)

8:45



引継ぎ

前日の出動状況や当日の業務内容を確認し、引継ぎます。

9:00

車両・機材点検

各車両や積載機材を点検、清掃し出動に備えます。



10:00

事務処理

火災原因調査や出動報告書作成から経理関係など多岐に渡ります。



12:15

昼食休憩



13:00

救助・救急訓練

出動に備えて各種訓練を行います。



写真上

高所救助訓練

写真下

救命処置訓練

夕食休憩

勤務時間中は外出ができないので、手作り弁当や買って来た物を食べて夜間勤務への力を蓄えます。



17:30



水利点検

町内の消火栓や防火水槽などを確認します。

広報活動

火災予防運動を始め、防災意識の啓発を行います。

19:30

研修

職員同士で事例研究などを行い、現場での対応に備えます。



22:00

夜間勤務

交代で仮眠をとりながら電話対応など夜間勤務を行っています。



こうして消防署の職員は、火災や災害を未然に防ぐための業務に励みつつ、24時間いつでも出動できるように心身ともに準備をし、私たちの日常を守ってくれています。



当別消防署で働く2人の職員に お話を伺いました

—消防士を志した理由を教えてください

川原 父が公務員、母が看護師で幼い頃から住民のために働く公務員、傷病者のために働く医療従事者が身近な職業でした。高校生の頃に、救急救命士の資格を取得することが消防士への道に繋がると知り、職種は違いますが、両親の仕事と重なる部分があり、やってみたいと思ったことがきっかけです。加えて、学生時代に野球をやっており、体力を活かせるという面も要因のひとつです。また、地元と環境が似ているところがあり、住民の方と近い距離間で接し、顔がわかるような関係で働きたく当別町を選びました。

小林 私は太美町の出身で、幼い頃に近所の火災現場で活動をしている消防士の姿を見たことがきっかけです。また、西当別中学校では職業体験学習があり、当別消防署を選びました。予防課の職員からの話で「消防の仕事ってなんだと思う？」と聞かれ「火を消すこと」と答えました。すると「それもあるけれど、自分たちは根本的に火災を起こさないまちづくりをして、不幸になってしまう人をゼロにしたいんだ」と言われ、そのように人を助けることができるなんてカッコいいなと思い、その時から本気で消防士を目指しました。

—消防職員としてどのようなことを心掛けていますか

川原 逼迫した場面での対応が求められるので、緊張することもあります。自分の中でしっかりと準備をすることが大切だと思っています。それは心構えだけでなく、現場ではどのようなことが起きるのかを想定しながら日頃の訓練を行い、24時間気を緩めことなく業務に励んでいます。

小林 火災や救急で出動するという事は、誰かが不幸になっていることが多いです。そのような人たちの目線に立って寄り添い、悲しい思いや不安にさせないことを出動時も日々の業務でも心掛けています。

—大変なことややりがいを教えてください

川原 全く同じ現場というのではなく、毎回様々なことが起きて、都度対応を求められます。冷静な判断や傷病者のことを考えた対応、最善の選択をできるようにするのはやはり大変です。見返りを求めているわけはありませんが、現場などで感謝をしていただけると、自分たちがやってきたことを信じて良いんだという気持ちになります。

小林 現場で活動する私たちも傷病者も死と隣り合わせであることから緊張感は大きいです。火災現場であれば火の中に入っていき怖さもありますが、自分たちがやらないと被害は大きくなります。気持ちを切り替え、自分の命を顧みずに現場で活動をすることは大変だと思います。普段から救助方法を考え、職員同士で試行錯誤していますが、同じとはいかずとも似た事案があり現場で活かされたときにやりがいを感じます。

—町民の皆さんへ

川原 消防の仕事というと救急や消火など出動に関する以外、普段何をしているのだろうと思うこともあるかもしれません。私たちの仕事を知っていただくことで、町民の方と距離を縮め、より良い関係性を築き、信頼される消防署にしたいと思います。また、地域防災を担う当別消防団の団員を募集中です。興味のある方はぜひ総務係までご連絡ください！

小林 消防署にはとっつきにくい印象があるかもしれませんが、「変な音がする」「ガスの臭いがする」「火がついて消火はできたけれど心配」など不安なことがあれば気兼ねなく頼ってください。また、怪我や病気などで119番へかけるか判断に迷うときには「#7119」にかけると救急安心センターさっぽろに繋がり、医師や看護師などが状況を聞き取りスムーズに案内できます。こちらもぜひご利用ください。

—消防士を目指す子どもたちへ

川原 自分の仕事に責任を持つことができ、元気いっぱい体力に自信のある人にはもってこいだと思います。頑張ってください！

小林 人を助けたいという気持ちがあれば大丈夫です。一緒に働きましょう！



警防課救助係 小林大さん 総務課総務係 川原大輔さん